



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月14日

上場会社名 株式会社クラウドワークス 上場取引所 東
コード番号 3900 URL <https://crowdworks.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 浩一郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 月井 貴紹 (TEL) 03(6450)2926
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績（2025年10月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		売上総利益		営業利益		EBITDA (Non-GAAP)※	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	16,374	△3.5	6,782	△5.5	264	△79.0	658	△63.8
2025年9月期第3四半期	16,975	36.8	7,177	26.1	1,260	17.8	1,816	35.4

(注) 包括利益 2026年9月期第3四半期 72百万円 (△87.0%) 2025年9月期第3四半期 558百万円 (△23.8%)

	経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益		1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	317	△74.3	50	△90.4	3.20	3.19
2025年9月期第3四半期	1,232	7.1	529	△25.0	33.53	33.42

※EBITDA (Non-GAAP) は、財務会計上の数値 (GAAP、日本基準) から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものであり、当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しております。具体的には、株式報酬費用、減価償却費及びのれん償却費を中心に、当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2026年9月期第3四半期	14,447		6,832		44.6
2025年9月期	15,690		6,746		40.7

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 6,444百万円 2025年9月期 6,381百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年9月期	—	0.00	—		
2026年9月期（予想）				—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		売上総利益		営業利益		EBITDA (Non-GAAP)		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	20,000	△11.7	8,400	△12.2	0 ～300	—	510 ～810	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社 (社名) ー、

除外 3社 (社名) 株式会社CLOCK・IT、株式会社AI tech、Peaceful Morning株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年9月期3Q	15,836,159株	2025年9月期	15,795,959株
2026年9月期3Q	185株	2025年9月期	185株
2026年9月期3Q	15,821,738株	2025年9月期3Q	15,788,376株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調で推移しました。また、企業においては、人手不足を背景に省力化・業務効率化へのニーズが高まる中、設備投資にも持ち直しの動きが見られました。一方で、中東情勢の影響や金融資本市場の変動、米国の通商政策を巡る動向等に注意を要するなど、企業を取り巻く経営環境の先行きは依然として不透明な状況が続いています。

労働市場においては、雇用情勢に改善の動きがみられる一方で、構造的な人手不足の深刻化と賃上げの進展を背景とした人材獲得競争の激化により、企業における人材確保は引き続き重要な経営課題となっています。このような状況のもと、企業では人手不足への対応や省力化を目的として、業務効率化・生産性向上の取り組みが加速しており、DXやAXの推進に加え、外部人材の活用や業務プロセスのアウトソーシング、業務の自動化を組み合わせた柔軟な業務運営の実現に向けたニーズが高まっています。その結果、エンジニア市場においてはAIやデータを活用した設計・分析・運用等の高度なスキルを有する人材への需要が拡大しています。また、定型業務においてもAIの活用が進展しており、エンジニアに求められるスキルの高度化・専門化が進んでいます。

また、個人においては、雇用慣行の変化を背景に、自律的なキャリア選択やライフステージに応じた多様な働き方へのニーズが高まっています。一方で、企業ではチーム連携やコミュニケーションを重視する観点からオフィス回帰が加速しており、個人と企業の双方にとって最適な働き方を模索する局面にあります。

このような社会・経済環境のもと、当社グループは「個のためのインフラになる」をミッション、「人とテクノロジーが調和する未来を創り、個の幸せと社会の発展に貢献する」をビジョンとして掲げ、フリーランス人材を中心とした人材マッチングサービス及び企業の生産性を向上するDX・AIソリューションを展開しています。2026年6月末時点で登録ユーザー数は797.5万人（前年同期比+86.8万人）、登録クライアント数は111.8万社（前年同期比+6.3万社）となりました。今後も既存事業の成長、DXコンサル事業の拡大、さらに企業におけるAI活用の支援強化に引き続き注力してまいります。

既存事業の主軸であるマッチング事業においては、企業におけるAI活用の進展に伴い変化する人材ニーズを捉え、コンサルティングを通じた付加価値の高いサービス提供により、1社あたりの契約単価向上に向けた取り組みを進めております。また、企業のDXニーズへの対応を強化するため、2025年に発足した新会社クラウドワークスコンサルティングを中心に、グループ全体での事業成長に取り組んでおります。当第3四半期連結会計期間においては、企業におけるAI導入・活用の進展に伴い急速に高まる業務プロセスの自動化ニーズを背景に、AI実装を支援するAI-BPOサービスに加え、AI技術者・専門家が集まる仕事マッチングサービス「AIクラウドワークス」の提供開始に向けた取り組みを推進しました。AIワーカーの事前登録者数は、募集開始2カ月半で10,000名突破し、2026年8月20日にサービスの開始を予定しております。今後も中堅・中小企業を対象に「DXコンサルの民主化」の実現に向け、顧客基盤の拡大に取り組んでまいります。

ビジネス向けSaaS事業においては、大企業や成長企業を中心に、従業員の工数を可視化する生産性向上SaaS「クラウドログ」を提供しています。また、「クラウドログ」により取得した工数データを活用し、経営課題の把握や業務効率改善に向けた提案を行うとともに、正社員コンサルタントおよびフリーランス人材を活用したコンサルティング、開発、RPA導入等を通じたDX支援にも取り組んでおります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高16,374,068千円（前年同期比3.5%減）、売上総利益は6,782,769千円（前年同期比5.5%減）、営業利益は264,441千円（前年同期比79.0%減）、EBITDA（Non-GAAP）は658,200千円（前年同期比63.8%減）、経常利益は317,198千円（前年同期比74.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は50,574千円（前年同期比90.4%減）となりました。

セグメント業績については、次のとおりであります。

① マッチング事業

売上高は15,529,152千円（前年同期比3.3%減）、セグメント利益は326,426千円（前年同期比74.3%減）となりました。

② ビジネス向けSaaS事業

売上高は734,287千円（前年同期比12.0%減）となり、セグメント損失は52,170千円（前年同期のセグメント利益は37,004千円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は14,447,398千円となり、対前期末比で1,243,392千円減少いたしました。

流動資産は対前期末比で1,472,708千円の減少となり、その主な内訳は、現金及び預金が1,192,071千円、売掛金及び契約資産が170,408千円、未収入金が247,253千円減少したものであります。固定資産は対前期末比で229,315千円の増加となり、その主な内訳は、のれんが179,709千円減少したものの、有形固定資産が438,611千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は7,615,153千円となり、対前期末比で1,329,573千円減少いたしました。

流動負債は対前期末比で1,024,033千円の減少となり、その主な内訳は、未払法人税等が531,623千円、預り金が201,839千円減少したものであります。

固定負債は対前期末比で305,540千円の減少となり、その主な内訳は、長期借入金が425,795千円減少したものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は6,832,245千円となり、対前期末比で86,181千円増加いたしました。その主な内訳は、親会社株主に帰属する四半期純利益50,574千円の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の業績予想につきましては、2026年7月13日に公表いたしました連結業績予想の修正から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,090,366	6,898,295
売掛金及び契約資産	2,148,181	1,977,772
未収入金	832,477	585,223
その他	436,561	582,844
貸倒引当金	△21,376	△30,635
流動資産合計	11,486,209	10,013,500
固定資産		
有形固定資産	19,913	458,524
無形固定資産		
のれん	3,232,290	3,052,581
その他	1,379	823
無形固定資産合計	3,233,670	3,053,405
投資その他の資産		
その他	961,440	933,402
貸倒引当金	△10,441	△11,434
投資その他の資産合計	950,998	921,968
固定資産合計	4,204,581	4,433,897
資産合計	15,690,790	14,447,398
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	597,062	587,002
未払金	1,715,252	1,753,345
未払法人税等	577,786	46,162
契約負債	526,152	440,805
預り金	1,278,075	1,076,235
その他	898,745	665,488
流動負債合計	5,593,074	4,569,040
固定負債		
長期借入金	3,315,071	2,889,275
その他	36,581	156,836
固定負債合計	3,351,653	3,046,112
負債合計	8,944,727	7,615,153
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,803,168	2,817,763
資本剰余金	2,907,611	2,922,206
利益剰余金	624,970	675,545
自己株式	△262	△262
株主資本合計	6,335,487	6,415,252
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45,566	29,624
その他の包括利益累計額合計	45,566	29,624
新株予約権	213,087	197,626
非支配株主持分	151,922	189,741
純資産合計	6,746,063	6,832,245
負債純資産合計	15,690,790	14,447,398

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	16,975,361	16,374,068
売上原価	9,797,954	9,591,299
売上総利益	7,177,407	6,782,769
販売費及び一般管理費	5,916,777	6,518,328
営業利益	1,260,630	264,441
営業外収益		
預り金失効益	55,149	59,509
保険解約返戻金	23,844	—
為替差益	—	29,279
その他	13,482	46,246
営業外収益合計	92,476	135,035
営業外費用		
支払利息	41,961	39,706
持分法による投資損失	22,041	—
支払手数料	38,076	35,203
出資金運用損	11,824	5,709
その他	6,945	1,659
営業外費用合計	120,850	82,278
経常利益	1,232,255	317,198
特別利益		
新株予約権戻入益	778	—
特別利益合計	778	—
税金等調整前四半期純利益	1,233,033	317,198
法人税等	672,230	228,804
四半期純利益	560,802	88,394
非支配株主に帰属する四半期純利益	31,365	37,819
親会社株主に帰属する四半期純利益	529,437	50,574

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	560,802	88,394
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,583	△15,941
その他の包括利益合計	△2,583	△15,941
四半期包括利益	558,219	72,452
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	526,854	34,632
非支配株主に係る四半期包括利益	31,365	37,819

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	マッチング	ビジネス向け SaaS	計			
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	1,457,830	15,895	1,473,725	72,071	—	1,545,797
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	14,594,453	818,911	15,413,364	16,200	—	15,429,564
顧客との契約から生じる収益	16,052,283	834,806	16,887,090	88,271	—	16,975,361
その他の収益	—	—	—	—	—	—
(1) 外部顧客への売上高	16,052,283	834,806	16,887,090	88,271	—	16,975,361
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3,959	315	4,274	—	△4,274	—
計	16,056,243	835,121	16,891,364	88,271	△4,274	16,975,361
セグメント利益又は損失(△)	1,268,634	37,004	1,305,638	△45,008	—	1,260,630

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規開発事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

マッチング事業セグメントにおいて、株式会社インゲートの株式を取得し、同社を子会社化しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては1,574,102千円であります。

マッチング事業セグメントにおいて、株式会社CLOCK・ITの株式を取得し、同社を子会社化しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては1,001,831千円であります。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	マッチング	ビジネス向け SaaS	計			
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	1,261,448	700	1,262,148	96,257	—	1,358,405
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	14,267,277	733,535	15,000,813	14,850	—	15,015,663
顧客との契約から生じる収益	15,528,726	734,235	16,262,961	111,107	—	16,374,068
その他の収益	—	—	—	—	—	—
(1) 外部顧客への売上高	15,528,726	734,235	16,262,961	111,107	—	16,374,068
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	425	52	478	—	△478	—
計	15,529,152	734,287	16,263,440	111,107	△478	16,374,068
セグメント利益又は損失(△)	326,426	△52,170	274,255	△9,813	—	264,441

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規開発事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

マッチング事業セグメントにおいて、2023年10月に行われた株式会社ユウクリの株式取得における条件付取得対価の発生に伴い、のれんを追加的に計上しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては155,000千円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	49,803千円	59,050千円
のれん償却額	411,967千円	334,709千円